

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌



Vol.41
2022年
秋号

芥川水辺だより



教室で水生生物の生態や河川の水質、安全な利用法、治水の仕組み、気象について学び、次にそれを川に入って実践。そして成果を展示会で披露するという3部構成のプログラム。芥川ではこの夏も3校で開催できました。エビがとれた。頭から尾の先まで全身が透明だ。胃はどこ？ 筋肉はどうなっている？ 血液は何色？ 生き物は、見れば見るほど不思議がいっぱいです。

水辺の楽校



このエビの全身透明そのわけを
ひと夏かけて考えてみた

[CONTENTS]

水辺の楽校
いい川づくりWSで入賞&技術賞

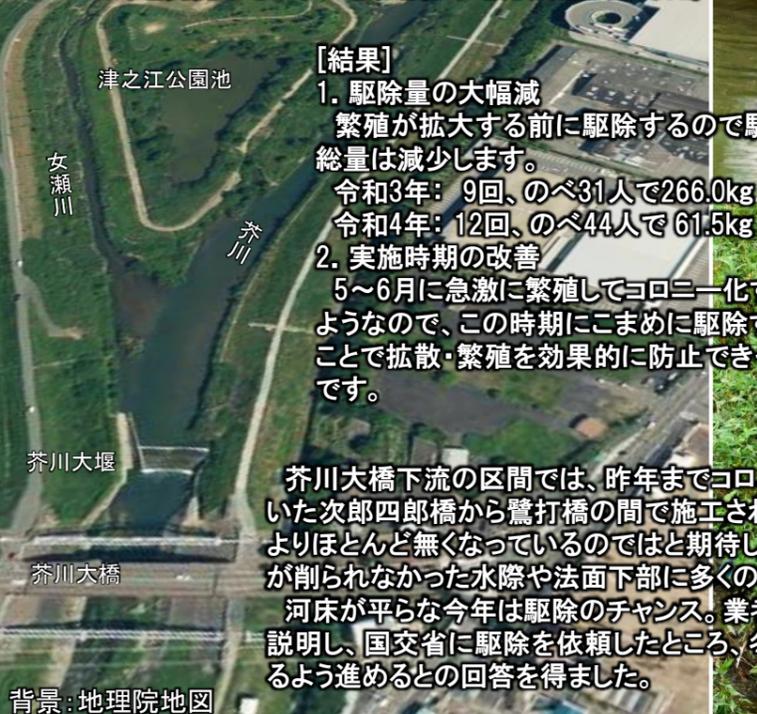


第14回「いい川・いい川づくりワークショップ」の表彰式

デルタフリー魚道の補修
おとなのための魚とり講座
魚類遡上調査
ミズヒマワリパトロール&駆除
令和4年度定例総会

ミズヒマワリパトロール&駆除

特定外来生物のミズヒマワリ。芥川大橋から城西橋までの区間では、芥川大堰・女瀬川(津之江公園の部分)・津之江公園池の3ヶ所で繁殖を繰り返しています。今年度はパトロールを高頻度で定期的に行い、とくに未成育のミズヒマワリを発見するとすかさず駆除する方法をとりました。



[結果]
1. 駆除量の大幅減
繁殖が拡大する前に駆除するので駆除総量は減少します。
令和3年: 9回、のべ31人で266.0kg
令和4年: 12回、のべ44人で61.5kg
2. 実施時期の改善
5~6月に急激に繁殖してコロニー化するようなので、この時期にこまめに駆除することで拡散・繁殖を効果的に防止できそうです。

芥川大橋下流の区間では、昨年までコロニーが点在していた次郎四郎橋から鷺打橋の間で施工された浚渫工事によりほとんど無くなっているのではと期待しましたが、土砂が削られなかった水際や法面下部に多くのコロニーが残存。河床が平らな今年は駆除のチャンス。業者の方に方法を説明し、国交省に駆除を依頼したところ、冬季に実施できるよう進めるとの回答を得ました。



発見したら根こそぎ駆除



遠望目視で全体像を把握



水際に残るコロニー



国交省、高槻市のみなさんと一緒にパトロール



ミズヒマワリの花

令和4年度定例総会 (令和4年7月9日)

【代表あいさつ】 芥川倶楽部は、平成17年(2005年)7月7日に発足しましたので、18年目のスタートです。この間、活動に参加いただきました皆さま、そしてこれまでご支援・ご協力いただきました関係者各位に改めて厚く御礼申し上げます。今年、「第38回大阪府まちづくり功労者感謝状」(大阪府知事)と「第1回まちづくりアワード(功労部門)」(国土交通大臣)の賞をいただきました。引き続き、地道な芥川倶楽部らしい活動が今年もできたらと願っております。



東京大学「坂本先生の特別講演『日本全国川巡り』」



国交省・令和4年度まちづくりアワード(功労部門)

田口代表のあいさつ



大阪府から感謝状

令和4年度の役員体制
代表: 田口圭介 (NPO芥川倶楽部)
副代表: 宮下典之 (パナソニック松愛会高槻支部)
副代表: 山本忠雄 (NPO芥川倶楽部)
会計: 山崎栄子 (NPO芥川倶楽部)
監事: 中川修一

令和3年度の活動報告・決算及び会計報告、令和4年度の活動計画案・予算案が審議、承認され、役員改選も承認されました。

芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントに参加してくれる方を募集しています。
ホームページ: <http://akutagawaclub.web.fc2.com/> ブログ: <http://akutariv.blog85.fc2.com/>
E-mail: akutagawa0726@yahoo.co.jp <芥川はみんなの財産です。みんなで守り、育てていきましょう。>

編集 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク ~愛称: 芥川倶楽部~ (事務局: NPO法人芥川倶楽部)
発行 令和4年(2022年)10月 高槻市都市創造部下水河川企画課 TEL: 072(674)7432
<芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワークは河川協団体(国(近畿地方整備局)第2号)に指定されています>



いい川づくりWSで入賞&技術賞

ネットワーク芥川倶楽部から6人が参加しました。

【1日目】全体発表会／テーブル選考会

- 【アピールポイント】
- 川(魚みち)はメンテするもの
 - 壊れたら自分たちで直す
 - 互いの立場を尊重し協働する

第14回いい川・いい川づくりワークショップ
 日時 9月3日(土)、4日(日)
 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 参加 全国から26団体

コーディネーターや他団体の質問に丁寧に答えましたが、残念ながら届きませんでした。

【2日目】ポスターセッション(復活選考)
展示用ポスターとリーフレット「芥川倶楽部」や「こだわりの技！芥川の魚道」を用いて、魚道の成果を詳しく説明しました。



テーブル選考会



ポスターセッション



技術賞受賞



最終的に入賞と技術賞を獲得。いずれも、川づくりに関わってきた芥川倶楽部にとって大変名誉な受賞となりました。

- 【入賞にあたっての評価ポイント】
- 長きにわたる地道な調査活動
 - 市民と行政の協働
 - 訪れなくなる親水空間
 - 大人(高齢者)を子どもにする川の活動

【技術賞の選定基準】
 “いい川”の保全や“いい川づくり”のために寄与した計画や工法等、ユニークな発想、アイデアなど優れた技術の開発と応用。

おとなのための魚とり講座

夏休みに入ったばかりの7月23日(土)朝。曇り空で暑さは少し和らぎました。先日来の雨で藻がすっかり流され、川底の石が見えるほど水がきれいでした。水温は少し冷たく感じる程度。川に入るには良い日となりました。参加者は親子7組15人。芥川倶楽部の関係者12人とあくびあ芥川のスタッフ6人がお手伝いして開催となりました。



まず大人が習得

大人が子どもに教える



最初にあくびあ芥川1階の広場で講座の流れの全体を説明。次に大人の皆さんは川へ、子どもたちは2階の水槽へ移動。大人たちは川で芥川倶楽部の福田さんからタモ網による魚の上手なとり方を習得。子どもたちは芥川に棲む魚について説明を受けました。大人たちが川で魚とりを実践したあと子どもたちが合流。大人が子どもに教えながら、1時間ほど一緒に魚とりを楽しみました。最後は花崎主任研究員から、皆さんがとった魚の説明がありました。



- 【今回とれた魚たち】
 魚類 …アユ、オイカワ、カワムツ、ムギツク、モツゴ、タモロコ、ドンコ、カワヨシノボリ、ドジョウ、シマドジョウ、カマツカ
 その他 …サワガニ、モズクガニ、スッポン



とれた魚の解説

デルタフリー魚道の補修

遡上する魚は、低水位の時はAの位置から魚道を通って上流を目指します。増水時には破線のルートでBの位置からも上流にのぼろうとします。ところが河床低下によりAの上り口はプールがなく水たたきの上を水が走っている状態。またBでは4段の階段状になってはいないものプールなし。これでは魚がのぼれないし、のぼるルートを迷ってしまいます。補修・改良してそれぞれプールをつくる必要がありました。



◆B部の改良工事

まず、各階段の下流側に高さ10~20cmの石を配置し、鉄筋を挿入してからコンクリートで基礎に固定。このようにして4段のプールを作りました。2日後にコンクリートが固まっていることを確認して通水。市民と行政のチームワークです。後日、増水時にプールの状態を再度調査し、水量が多い時にはアユなどの魚が上流へのぼれていることを確認しました。



改良前

改良後

B部魚道

B部魚道(増水時)



デルタフリーブロック：円筒を3つ組み合わせた形状の小型ブロック。



調査期間は5月~8月。週1回10時~14時を基本として、延べ23回実施。遡上を確認した魚は11種、計1,109匹でした。

- 右上表のとおり、
- アユの遡上は5月が多く6月に入ると少なくなります。
 - 6月に入るとオイカワ、ニゴイの遡上が始まり、7月、8月は多くの種類の魚たちが一気に増加する傾向が見られました。
 - 特にオイカワの遡上数が多いです。遡上してきたオイカワの大部分は体長10cm以下の未成魚です。
- 魚道は川の生物多様性を取り戻すために作られていますが、良いことばかりではありません。オオクチバス、コクチバス、ブルーギルなどの特定外来魚ものぼって来ます。次年度は調査回数を増やして、魚類の遡上期間や魚種をもう少し詳しく調べたいと思います。

魚類遡上調査

これまで、摂南大学と協力して芥川大堰の魚道でのアユ遡上数を目視調査で10年間続け、一定の成果が得られました。今年度は、新しい取組みとして魚道最上部に簡易定置網を設置し、アユだけでなく、遡上する全ての魚種の遡上数を調査しました。

婚姻色のオイカワ



魚種別	令和4年				計
	5月	6月	7月	8月	
オイカワ	1	13	408	473	895
モツゴ		1			1
タモロコ			9		9
コウライモロコ	1		1		2
スミウキゴリ	1				1
カマツカ			33	18	51
ニゴイ		31	21	10	62
アユ	41	6	5	3	55
オオクチバス			5	26	31
コクチバス			1		1
ブルーギル			1		1
合計	42	54	473	540	1,109

使用した定置網 …試行錯誤して手作り